



平成27年 No.199

北九州市産業経済局
農林水産部農林課
☎(093)582-2078

新年のごあいさつ

北九州市産業経済局企業立地・食ブランド
推進担当理事 大川 博己

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日本の経済は、長く続いてきたデフレ状態から、ようやく脱出しつつあるといわれています。本市においても全体としては緩やかな回復傾向にありますが、農林水産業においては依然として厳しい状況が続いています。

特に、生産者の減少、高齢化の進展、耕作放棄地の増加といった問題の解決は、農林水産業の喫緊の課題となっており、国においては、平成25年12月「農林水産業・地域の活力創造プラン」を策定し、これらの課題を解決を図るとともに農林水産業・農林漁村全体の所得を今後10年間で倍増させることを目指しています。

一方、本市においては、アジアの中核的な産業都市として、持続的な発展・成長を目指していくため、平成25年3月に『北九州市新成長戦略』を策定しました。この戦略に基づいた施策を推進する上で、農林水産業においては「地元産品の6次産業化及び農商工連携の推進」をリーディングプロジェクトに掲げ、「市民応援団のネットワークづくり」「地元農林水産物を活用した新商品の開発等」「地産地消の強化」に取り組んでいるところです。

また、昨年4月に食に関わる業務を一元的に扱う「食の魅力・創造発信室」を新設し、食に関する産業の振興、食を活かしたまちづくりにも取り組んでいます。その成果として、市内企業と北九州市が連携し、『北九いいと（方言で「いいと（良い）」と英語の「イート（食べる）の掛け合わせ』という食のブランドを立ち上げ、地元で作られた商品の販売化を実現しています。

今年も引き続き農林水産業者の所得向上に向けた各種施策のほか、集中豪雨や台風、高潮等に対する災害防止機能の向上や豊かな里地、里山、里海づくり等を進め、農林水産業がもつ多面的な機能も活かしてまいります。

そのため、農林水産業者や関係団体の方々と力を一つにし、全力で農林水産業の振興に取り組みますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

どうぞ本年も皆さまにとって、実り多き一年となりますように心からお祈りいたします。



第17回全国農業担い手サミットinひょうごに参加

去る、11月13日(木)、14日(金)に「第17回全国農業担い手サミットinひょうご」が兵庫県で開催されました。

全国から担い手農家(認定農業者)約2,500名の参加があり、本市からは北九州市認定農業者協議会会員4名と市職員2名が参加しました。

会場のグリーンアリーナ神戸での全体会では、全国優良経営体表彰・農林水産大臣賞表彰があり、コスト低減や地域活性化への貢献、新規就農者支援等に取り組む、意欲の高い大規模経営体が表彰されました。その他に、農業の担い手として積極的に取り組む事項について、サミット宣言が行われました。

全体会終了後は、兵庫県内9会場で現地研修会が行われました。

本市からの参加者は神戸地域・姫路地域・淡路地域の現地研修会に分かれました。

神戸地域では、軟弱野菜(小松菜、水菜等)の生産が盛んで、袋やダンボールを使わず、野菜結束テープを使った束を通いコンテナに入れて共同販売出荷しており生産者の出荷コスト低減になっていました。

姫路地域では、姫路市農業振興センターで、定年帰農や担い手育成のための研修状況を見学しました。ここでは、家庭菜園程度や直売所出荷を目標とした研修を行っており、担い手確保は全国的な問題であると改めて認識しました。

淡路地域では、果物の加工品販売や観光農園についての現地研修でした。廃校を利用したレストランやカフェを併設した観光農園など、新たな農業経営の参考となりました。

全国の担い手との交流を深め、いろいろな農業の形を学ぶことができ、非常に有意義な2日間を過ごすことができました。



鳥獣の餌を放置していませんか?(果樹編)

果樹は次のように管理することで、鳥獣の被害や個体数の増加防止に努めましょう。

- ① 手の届く範囲に剪定し、樹高を低く仕立てましょう。
※ 低く横方向に仕立てることで、サルや鳥が近づきにくくなります。
- ② 防鳥ネット等を張って防除しましょう。
※ ①のように樹高を低く仕立てれば、ネットが張りやすくなります。
- ③ 落下した果実で不要なものは速やかに拾い集めて処分しましょう。
- ④ 樹上にいつまでも収穫しない(採り残し)果実を放置しないようにしましょう。
※ 剪定により必要以上に実をつけないようにすることが出来ます。
- ⑤ 不要な果樹(放置果樹)は伐採しましょう。



地域で協力して、鳥獣にとって魅力のない集落にしましょう!

第 28 回北九州市農林水産まつり

11月22日(土)、23日(日)の2日間、総合農事センターにて「第28回北九州市農林水産まつり」が開催されました。

北九州市のブランド品である「若松潮風キャベツ」や「関門海峡たこ」、「小倉牛」をはじめ、地元で採れた野菜や海産物、加工品、花苗等を求め、多くの人で賑わいました。

また、小倉牛モモ丸焼きや釜石特産焼きサンマのふるまいのコーナーでは長蛇の行列ができました。

手作りバター教室やクイズラリー、北九州産の食材を使った絆でつくるふるさと料理コンクール、野菜の模擬せりなどのイベントも行われ、非常に盛り上がりしました。

24,000人の来場者にまつりを楽しんでいただき、また、市内産の農林水産物を大いにPRすることができました。



北九州産の食材を使った絆でつくるふるさと料理コンクール 受賞者

(鰻部門)

北九州市長賞	三澤 建治(松柏園ホテル)
北九州商工会議所会頭賞	中田 努(ビストロブッフドール)
北九州市調理師連合会会長賞	洲鎌 誠光(料亭松助)

(鶏部門)

産業経済局長賞	戸川 健(松柏園ホテル)
北九州市観光協会会長賞	森本 くるみ(千草ホテル)
北九州市調理師連合会会長賞	中田 貴子(ビストロブッフドール)

平成27年産のゲタ・ナラシ対策に加入しましょう!! 27年産から対象者要件が変わります!

「畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)」及び「米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)」の交付対象者は、27年産から認定農業者、集落営農、認定新規就農者であればよく、いずれも規模要件はかかりません。担い手の方が幅広く参加できるようになります。

まだ認定農業者等の担い手となっていない方は、27年産の加入申請期限(27年6月末)までに、認定農業者や認定新規就農者となっていただくか、集落営農を組織して参加いただくこと等が必要です。お早めに準備をお願いします。

認定農業者になるには?

自らの農業の5年後の目標やその達成に向けた取組等を内容とする「農業経営改善計画」を作成し、市町村の認定を受けることが必要です。

認定に際しては、一律の規模要件や年齢制限は設けないこととします。もし認定する市町村で規模要件や年齢制限を設けている場合は、これを廃止するか、または弾力的な運用を行うようにする予定です。

認定新規就農者になるには?

経営を開始してから5年後の目標やその達成に向けた取組等を内容とする「青年等就農計画」を作成し、市町村の認定を受けることが必要です。

既に知事から就農計画の認定を受けていた認定就農者は、改めて認定新規就農者の認定を受ける必要があります。その際、就農計画の記載内容を変更せずに認定を受けようとする場合には、認定手続きの簡素化がなされています。

集落営農の要件は?

27年産から、
① 組織の規約作成と、
② 対象作物の共同販売経理の実施
が要件となります。

この他、農業経営の法人化、地域における農地利用の集積は、市町村が確実と判断すれば、要件を満たしているものとします。

経営所得安定対策の内容や対象者要件について詳しく知りたい方は、九州農政局北九州地域センターにお問い合わせください。

電話 093-561-1596 フリーダイヤル 0120-38-3786

認定農業者・認定新規就農者については、北九州市 東部・西部農政事務所または農林課にお問い合わせください。

東部農政事務所 093-951-4111(内線587) 西部農政事務所 093-693-9912 農林課 093-582-2078

横代小学校が「総合的な学習の時間」に総合農事センターを学ぶ

9月9日と22日の2日間、横代小学校の3年生111名が総合農事センターに来園しました。1日目は、総合農事センターの概要を勉強し、園内を探索しました。収穫したぶどうを食べて「甘くておいしい」と喜んだり、土の中で実をつけるラッカセイを収穫して驚いたり、たくさんのことに興味をもったようでした。

2日目は、「野菜・直売班」「畜産班」「果樹・園内管理班」「花卉・温室班」に分かれて作業を行ないました。野菜・直売所班では、はくさいの定植や、オクラを収穫して袋詰し、農林ショップ「結い」に出荷しました。小さな苗から時間をかけて野菜ができること、袋詰に苦戦した野菜が、すぐにショップで売れたことに大喜びしていました。今回、総合農事センターでの体験を通して、農業について知るきっかけづくりになったと思います。

総合農事センターでは、これからも市民と農業の接点をつくる拠点として、様々な活動を行っていきたいと思います。



ぶどうを収穫・試食している様子



はくさいの定植の様子



牛の飼料をつくっている様子

第7回「豊前海一粒かき」のかき焼き祭り開催!

北九州市の冬の恒例イベントとなった「豊前海一粒かき」のかき焼き祭り。200台の焼き台を設置し、広場一帯がまるで広大なカキ小屋に早がわり!

市内食材を使った料理・加工品なども販売され、かきをはじめ、さまざまな北九州の旬のおいしさを堪能できます。

- ◆ 豊前海一粒かき販売 1,000円/1袋
- ◆ 日 時：平成27年2月1日(日)
10:00～16:00(焼き台受付終了：15:00)
- ◆ 会 場：門司港レトロ中央広場
- ◆ 主 催：北九州カニ・カキロード活用推進協議会事務局(TEL:582-2080)



総合農事センターからのお知らせ

展示栽培実施中

	品目	品種	播種・定植時期	収穫時期	栽培の内容	備考
野菜	たまねぎ	ソニック、浜育	播種：9月中旬 定植：11月上旬	4月	試験栽培	給食出荷期間延長のための極早生品種の比較
	トレビス	ヴェネチア	播種：9月上旬 定植：10月上旬	12月	西洋野菜の栽培検討	チコリーの一種。白と赤の模様。結球する。
	チーマディラバ	サイレント	播種：9月上旬 定植：10月上旬	2月～3月		西洋なばな。早生種で日本のなばなより大きな花蕾が収穫できる。
花き	フリージア	テキサス、ブルームーン、アンバサダ、サンドラ	定植：10月上旬	3月	展示栽培	切花販売用栽培
	ストック	シャンテミックス	播種：10月上旬 定植：11月中旬	3月	展示栽培	豪華なスプレー咲き
	ヘリクリサム	モンストロサ	播種：10月上旬 定植：11月中旬	3月	展示栽培	カサカサとした独特の花 ドライフラワーなどの利用におすすめ